

費用対効果の正誤表

資料①-3

河川名	既提示			今回修正提示		
	総便益 〔B〕(億円)	総費用 〔C〕(億円)	費用対効果 〔B/C〕	総便益 〔B〕(億円)	総費用 〔C〕(億円)	費用対効果 〔B/C〕
宮川	529.2	90.5	5.9	267.6 ※2,3	100.8 ※1,3	2.7
牧川	100.7	43.5	2.3	86.5 ※2	54.5 ※1	1.6
和久川	16.9	6.1	2.8	16.9	6.1	2.8
相長川	14.4	10.1	1.4	14.4	10.1	1.4
大谷川	73.7	29.6	2.5	60.6 ※2	30.5	2.0
八戸地川	国の直轄事業と連携。		—	国の直轄事業と連携。		—
大砂利川	国の直轄事業と一体的な整備		—	国の直轄事業と一体的な整備		—

修正点

※1 治水経済マニュアルの取扱について、国からの通達に基づき再計算(社会的割引率及びデフレーター)の取扱)

※2 宮川、牧川及び大谷川について、浸水家屋数を再精査し便益を見直し。

※3 宮川については、前回将来計画である1/50に対するB/Cを提示していたが、今回1/10の数値に修正。